

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果等について

みだしの調査が、4月18日に実施されました。

現在、各学校で調査結果の分析・検証を進めており、今後、自校の課題を踏まえた指導の改善に一層取り組んでいくところです。

つきましては、多治見市全体の傾向をお知らせしますので、お子さんの学習習慣や生活習慣を見つめ直す際の参考として活用いただきますようお願いいたします。

1 学力調査の結果より

調査を行った教科「国語・数学」の平均正答率について、「数学」は、国・県の値を上回っています。「国語」は国の値を上回っていますが、県とは同等です。

また、各調査結果から今後付けたい力として、以下のことを挙げるすることができます。

- 【国語】・内容を解釈するために、どの部分とどの部分が関連しているのかを確認し、書き手の伝えたい内容をより正確に読み取ったり、その結果どのような効果が生まれているのかを考えたりすること。
- ・目的に応じて必要な情報に着目して要約して記述すること。
- 【数学】・データの活用に関して、箱ひげ図等を正しく理解し、データを比較するなど、データ分布の傾向を読み取り、判断できるようにすること。
- ・事象とグラフを結び付けて考え、グラフのどこを見れば解決できるのかを判断すること。

ご家庭では、学校から配付される個人票を参考に、正答数（率）だけでなく、誤答の自己分析から課題を見つけましょう。今後努力することを、お子さん自身が自己決定できるような振り返りとなるようお声がけをお願いします。

2 質問紙調査の結果より

質問紙調査において主なものをまとめると、以下のようなことがいえます。

<学習習慣>

- ・1日の家庭における学習時間(月～金)2時間以上が、約40%で国・県を上回っています。休日になると、県の割合は上がりますが、多治見市は若干下がっています。
- ・授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる割合は、国を上回っていますが、県を下回っています。自分で考え、自分から取り組んでいる児童ほど正答率が高い傾向にあります。
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている割合は、国と同等ですが県を下回っています。学習を見直して、次の学習につなげている児童ほど正答率が高い傾向にあります。

<生活習慣>

- ・一日のテレビゲームの時間(月～金)2時間以上が約50%で国・県と同等です。
- ・一日のSNS、動画視聴の時間(月～金)2時間以上が約55%で県よりは若干低いですが、国と同等です。ゲームもSNS、動画視聴も時間が増えるほど、国語・数学ともに正答率が下がる傾向があります。

<その他>

- ・自分にはよいところがあると思う割合は、県よりは若干下回っていますが、国とは同等です。
- ・将来の夢や目標をもっている割合は、国・県を下回っています。

本調査からも、家庭や学校での学習習慣・生活習慣が学力にも大きく関わっていることは明らかであり、『習慣』は、意識して努力を続けることにより必ず改善できます。

家庭と学校が協力し、子どもが望ましい習慣を身に付け、将来の自立や個性豊かな自己実現に向かっていくことができるよう、今後ご理解とご協力をお願いいたします。